

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成25年3月14日 (2013.3.14)

【公表番号】特表2012-515801(P2012-515801A)

【公表日】平成24年7月12日 (2012.7.12)

【年通号数】公開・登録公報2012-027

【出願番号】特願2011-548230(P2011-548230)

【国際特許分類】

A 6 1 K 31/122 (2006.01)

A 6 1 K 31/7028 (2006.01)

A 6 1 K 31/366 (2006.01)

A 6 1 K 31/7034 (2006.01)

A 6 1 K 31/7048 (2006.01)

A 6 1 P 3/10 (2006.01)

A 6 1 P 3/04 (2006.01)

A 6 1 K 36/00 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K 31/122

A 6 1 K 31/7028

A 6 1 K 31/366

A 6 1 K 31/7034

A 6 1 K 31/7048

A 6 1 P 3/10

A 6 1 P 3/04

A 6 1 K 35/78 X

A 6 1 K 35/78 A

【手続補正書】

【提出日】平成25年1月23日 (2013.1.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

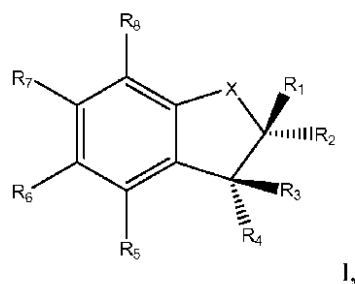
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

被験体における糖尿病または肥満症を治療するための、式 (I)

【化 1】



[式中、

各 R_1 、 R_2 、 R_3 および R_4 は、独立して、H、 OR_a 、アミノ基、ハロゲン基、アルコキシカルボニル基、アルキルチオ基、アルキルアミノ基、アルキル基、アルケニル基

、アルキニル基、 $-(G)_x$ 、 $-O-(G)_x$ または $R_b-O-(G)_x$ であり、各 R_a 及び R_b が独立に、H、アルキル基、アルケニル基、アルキニル基、シクロアルキル基、ヘテロシクロアルキル基、アリール基、またはヘテロアリール基であり、G が単糖残基であり、x が 1 から 4 の整数である；

各 R_5 、 R_6 、 R_7 および R_8 は、独立して、H、 OR_c 、アミノ基、ニトロ基、シアノ基、ハロゲン基、アルコキシカルボニル基、アルキルチオ基、アルキルアミノ基、アルキル基、アルケニル基、アルキニル基、アリール基、ヘテロアリール基、シクロアルキル基、ヘテロシクロアルキル基、 $-(G)_x$ 、 $-O-(G)_x$ または $R_d-O-(G)_x$ であり、各 R_c 及び R_d が H、アルキル基、アルケニル基、アルキニル基、シクロアルキル基、ヘテロシクロアルキル基、アリール基、またはヘテロアリール基であるか、または R_5 、 R_6 、及びそれらが結合している 2 個の炭素原子が共同で所望により 1、2 または 3 個のヘテロ原子を含む 3 ~ 8 員環を形成するか、または R_6 、 R_7 、及びそれらが結合している 2 個の炭素原子が共同で所望により 1、2 または 3 個のヘテロ原子を含む 3 ~ 8 員環を形成するか、または R_7 、 R_8 、及びそれらが結合している 2 個の炭素原子が共同で所望により 1、2 または 3 個のヘテロ原子を含む 3 ~ 8 員環を形成する；および、

X は、 $C(O)$ 、 $C(S)$ 、 $S(O)$ 、 COH 、 $C(R_eR_e')$ 、または $C(NR_f)$ であり、各 R_e 及び R_e' が独立に、H、アルキル基、またはシアノ基であり、 R_f が H、 OR_a 、アミノ基、ハロゲン基、アルコキシカルボニル基、アルキルチオ基、アルキルアミノ基、アルキル基、アルケニル基またはアルキニル基である]

で表される プテロシン化合物の有効量を含む、医薬組成物。

【請求項 2】

前記糖尿病が 1 型または 2 型糖尿病である、請求項 1 に記載の 医薬組成物。

【請求項 3】

X が $C(O)$ または CH_2 である、請求項 1 に記載の 医薬組成物。

【請求項 4】

各 R_1 、 R_2 、 R_3 および R_4 が、独立して、H、 OR_a 、 $-(G)_x$ 、 $-O-(G)_x$ 、 $R_b-O-(G)_x$ 、または所望によりハロゲン基、 $COOR_g$ 、 OR_g で置換されたアルキル基であり、 R_g が H、アルキル基、シクロアルキル基、ヘテロシクロアルキル基または保護基である、請求項 1 - 3 のいずれか一項記載の 医薬組成物。

【請求項 5】

各 R_5 、 R_6 、 R_7 および R_8 が、独立して、H、 OR_c 、 $-(G)_x$ 、 $-O-(G)_x$ 、 $R_d-O-(G)_x$ 、または所望によりハロゲン基、 $COOR_g$ 、 OR_g で置換されたアルキル基であり、 R_g が H、アルキル基、シクロアルキル基、ヘテロシクロアルキル基または保護基である、請求項 1 - 4 のいずれか一項記載の 医薬組成物。

【請求項 6】

前記 プテロシン化合物が、化合物 1 ~ 84 のいずれかである、請求項 1 に記載の 医薬組成物。

【請求項 7】

前記 プテロシン化合物が、化合物 1、4、5、7、10、12、15、17、28、63、および 71 ~ 75 のいずれかである、請求項 1 に記載の 医薬組成物。

【請求項 8】

経口投与または注射投与される、請求項 1 - 7 のいずれか一項記載の 医薬組成物。

【請求項 9】

前記被験体が肥満である、請求項 1 - 8 のいずれか一項記載の 医薬組成物。

【請求項 10】

前記 プテロシン化合物が単離された プテロシン化合物である、請求項 1 - 9 のいずれか一項記載の 医薬組成物。

【請求項 11】

前記 プテロシン化合物が、コバノイシカグマ科またはイノモトソウ科のワラビから製造されたシダ類産物に存在する、請求項 1 - 9 のいずれか一項記載の 医薬組成物。

【請求項 12】

前記ワラビが、ツルカグマ (*Dennstaedtia scandens*)、ユノミネシダ (*Histiopteris incisa*)、ウスバオオイシカグマ (*Microlepia speluncaae*)、ワラビ (*Pteridium aquilinum* var. *latiusculum*)、ランダイワラビ (*Pteridium revolutum*)、イワヒメワラビ (*Hypolepis punctata*)、ミズワラビ (*Ceratopteris thalictroides*)、ハチジョウシダ (*Pteris fauriei*)、オオアマクサシダ (*Pteris dimidiata*)、ホコシダ (*Pteris ensiformis*)を含む群から選択される、請求項 11 に記載の医薬組成物。

【請求項 13】

前記被験体の血清脂質またはコレステロールの濃度を低下するのに十分である、請求項 1 - 12 いずれか一項記載の医薬組成物。